

株式会社パートナーズリンク代表 藤崎敏郎

アイコンタクトに愛を込めて

たった1分間でその場の皆が明るく元気になり、今日もやるぞという気持ちになる実習があります。当社の研修では、スタート時の実習にこれを行うのが恒例となっています。

「こんなことで？」と思うかもしれませんが、百聞は一見にしかずです。ぜひ体験してください。

それは、笑顔になって、アイコンタクトをしっかりと握るく元気よく次のように説明手をして、「よろしくお願います」



「さあ、今日も明るく握手からスタートしましょう。笑顔！このときに自分でも笑顔を作ります。『アイコンタクト！』（自分の目を指差します）。次は、『よろしくお願います！』と明るく元気な声で挨拶をして、近くの人と握手をしましょう。時間は1分間です。全員と握手をしましょう。同じ人と何度も握手をし

てもかまいません。自分からどんどん進んでやりましょう。私が『スタート』と言ったら始めます。それでは、スタート！

どうして効果が大きいかというところ、この実習には、人にとって嬉しいと言われている「ストローク」が4つも入っているからです。ストロークとは相手（あるいは自分）の存在・価値・行動を認めているということを伝える、何らかの行動や働きかけと定義されています。具体的には、にっこりと微笑む、会話をし、挨拶をする、話を聞いてあげる、握手する、励ますなどです。共通してい

るのは、相手の存在を認め、現状を肯定的に捉えて認めることで、認めているということこそ相手に伝えることです。このストロークが生み出すものは、自信・安心感・信頼感・幸福感です。もっと一緒にいたい、もっと話をしたい、ともに歩きたい、という気持ちになります。さらに、自信がつく、やる気になる、という効果もあります。司会進行の人は次のようにアドバイスしましょう。

「特にアイコンタクトがポイントです。アイコンタクトがあると、ビタミンをもらうことができます。ビタミンCでもなく、Aでもありません。アイコンタクトは愛を込めて、そう、ビタミンE（愛）をプレゼントする心を込めて行いましょう」社長も専務も常務も営業部長も、一緒に店舗の社員と実施すると効果の大きさが分かるでしょう！



ふじさき・としろう

（株）パートナーズリンク代表取締役社長。大阪市立大学経済学部卒業後、大手流通チェーン企業に入社。準大手パチンコホール企業で総括SV、営業企画室長、経営計画部長を経て独立。人事コンサルタントとして社員教育・リスク回避型就業規則作成・クレド作成コンサルティング、評価制度の構築などを行っている。